



## 新大阪駅の乗換案内を改善へ 宿泊税を活用 過去最高の来場者を記録 進学フェア

—加治木府議の9月定例会質問より

加治木一彦府議は10月6日の府議会本会議で新大阪駅の拠点機能強化などについて一般質問をしました。また、10月27日の教育常任委員会で公立高校の進学フェアなどを質疑しました。概要は以下の通りです。



▲現在の新大阪駅の案内表示

**【一般質問より】** JR新幹線や在来線、地下鉄が乗り入れ、1日約20万人の乗車人員がいる新大阪駅の乗換案内を鉄道事業者任せにするのではなく、行政も関与すべき、と問いました。府は宿泊税を使った補助制度を利用し、運行案内を示すモニター設置や床面の経路案内を整備する予定です。

このほか、国際交流施策、文化・スポーツ施策、淀川を活用した新大阪・大阪エリアの活性化など計6項目を取り上げました。



▲一般質問する加治木府議

**【教育常任委員会の質疑より】** 進学フェアは毎年7月、府内の公立高校が一堂に会し、中学生や保護者に学校の魅力をアピールするものです。今年は会場をインテックス大阪に移し、過去最高の1万7000人が来場したそうです。私は入場制限がかかるほど混雑した昨年の実態を踏まえ、会場をはじめ運営の改善を求めています。

このほか、日本遺産、小学校の英語教育、小中学校での日本語指導、文理学科の拡充など計8項目を取り上げました。

多くの来場者が集まった進学フェア▶



## 活動日誌より

### 7月 北海道釧路市 13,14

(地独)北海道立総合研究機構水産研究本部の釧路水産試験場は、スケトウダラやホッケなど漁業生物の資源・生態調査や、水産加工品の品質高度化など多岐にわたる研究に取り組んでいます。



釧路港は道東地域への石油供給や、大手製紙会社の原料移入、製品移出の拠点です。耐震岸壁はクルーズ船も寄港しており、地元の高校生による英語でのおもてなし活動が平成28年度、土木学会北海道支部の地域活動賞を受賞したなど地域の活性化に役立っています。

### 7月 大阪市住之江区 17

大阪の高校生が英語圏への留学に必要な英語力などを身につけられるように、との目的で府などが「おおさかグローバル塾」を開いています。この日は豪州コースの生徒の修了式などがありました。私も英国留学の先輩として、自分の言葉で話す大切さをお話しました。



### 7月 枚方市、八尾市 28

府立枚方支援学校は平成27年4月開校で、枚方市、交野市の知的障がいのある小学生から高校生年代の児童生徒を受け入れています。できて3年目の新しい学校ということもあり、設備や備品も整っている印象があります。



一方、府立八尾支援学校は昭和42年4月開校、今年で50周年を迎えました。東大阪市と八尾市から児童生徒が通学しています。



耐震化は一段落したため、これからは快適な学習環境づくりに引き続き取り組んでいきます。

### 11月 熊本県 13,14

昨年4月の地震で山の斜面が崩れたため壊された阿蘇大橋の現場は今も復旧作業が続き、橋そのものは別の場所で架け替え工事が進められています。



農業大学校は2年間の専修学校として県内外の若者が全寮制で学んでいるほか、新たに農業につきたい大人向けの研修コースもレベルに合わせて複数あります。

